

第3期教育振興基本計画への 学校保健分野の追加要望 《添付資料》

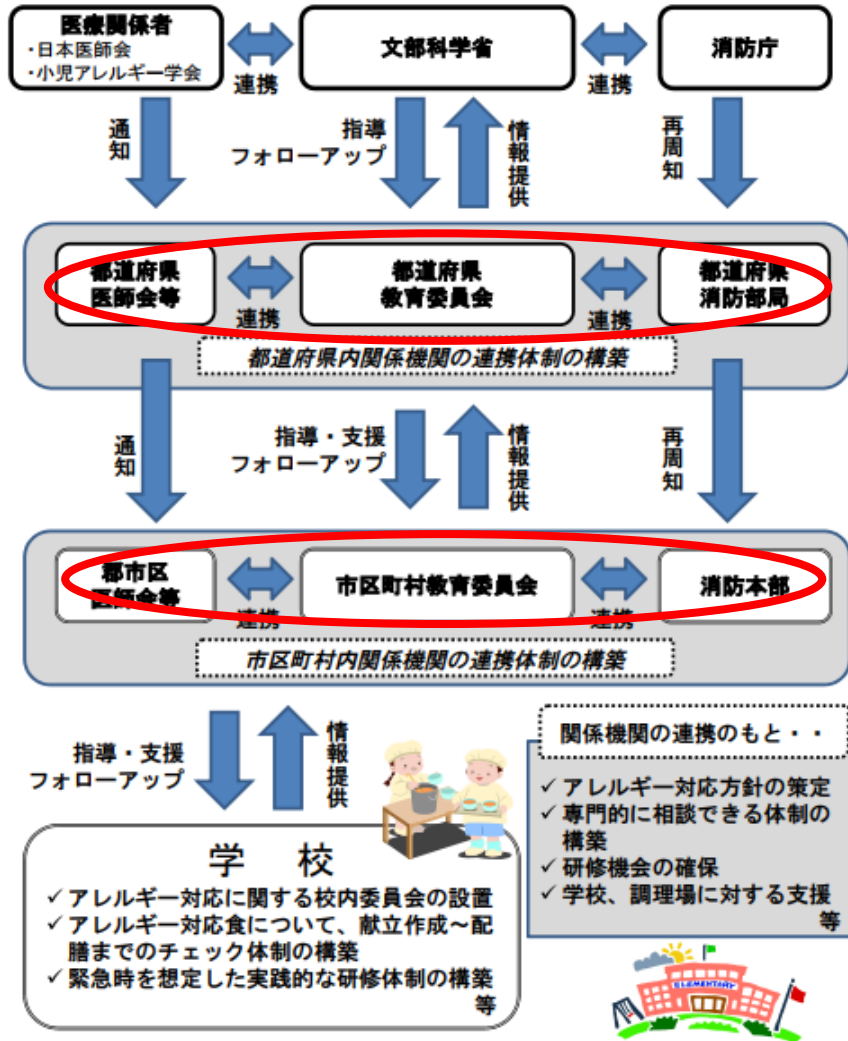
平成29年9月28日
中央教育審議会 総会
委員 横倉 義武

〔日本学校保健会 会長〕
〔日本医師会 会長〕

国における連携の仕組みづくりの例

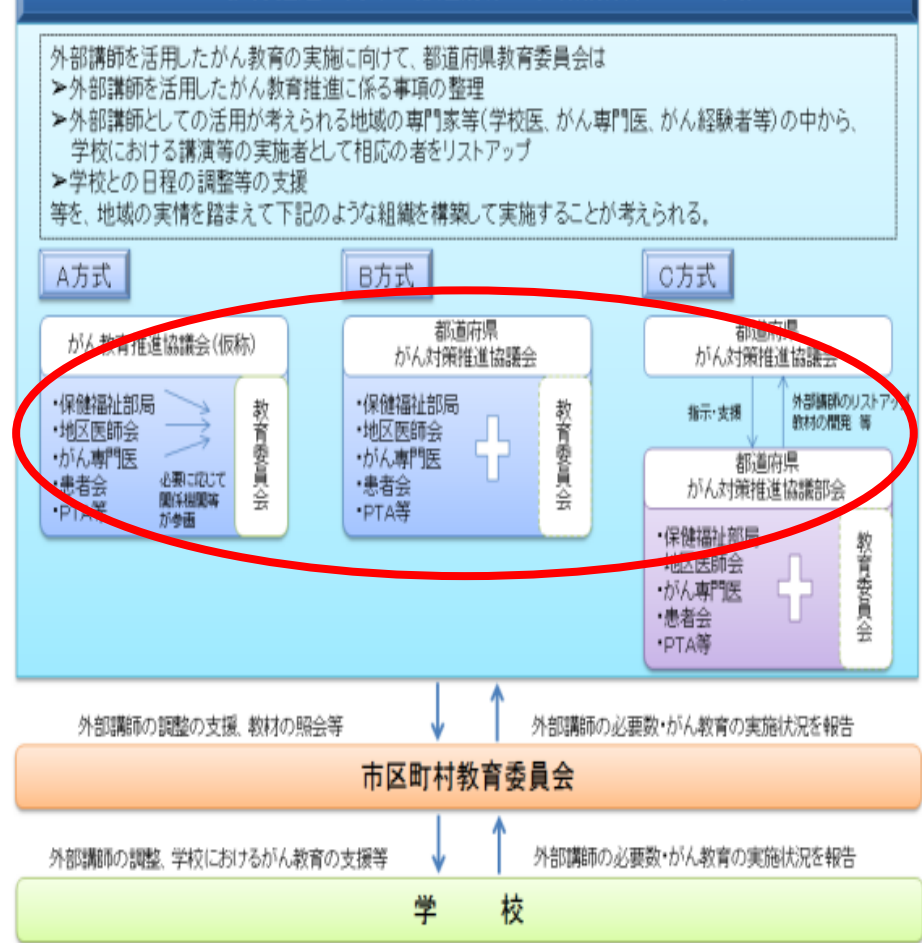
【食物アレルギー対策・がん教育】

今後の学校における食物アレルギー対応推進体制



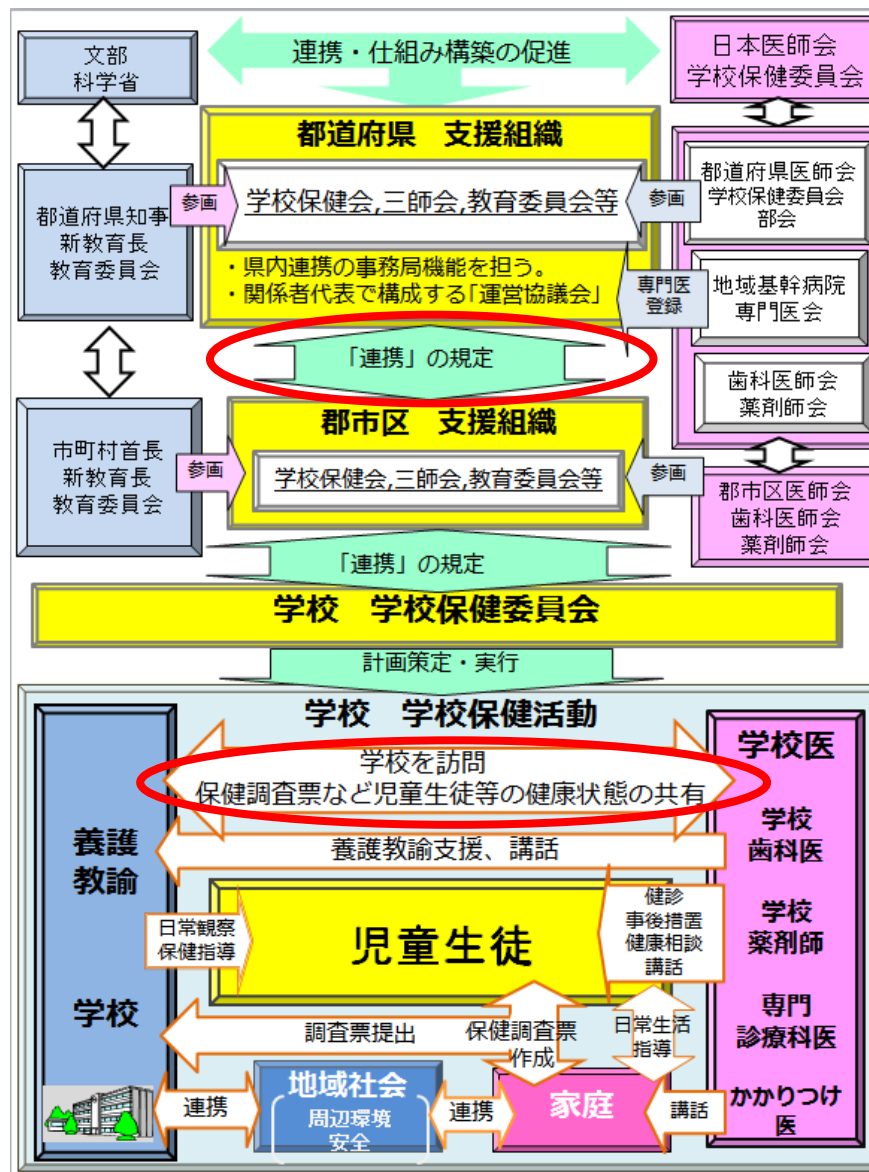
出所：今後の学校給食における食物アレルギー対応について
(通知)
(平成26年3月26日 文部科学省スポーツ・青少年局長通知
添付資料)

がん教育推進に向けた都道府県の組織構築(イメージ図)



出所：外部講師を用いたがん教育ガイドライン【抜粋】
(平成28年4月 文部科学省)

日本医師会 学校保健委員会が提唱する組織の仕組み



出所：日本医師会 学校保健委員会答申【抜粋】（平成28年3月 日本医師会）

学校保健統計について

児童生徒等の発育及び健康状態の把握を目的とし、全国の抽出調査実施校の結果を反映（下記に統計項目を示す）

● 児童生徒の発育状態

身長・体重

● 児童生徒等の健康状態

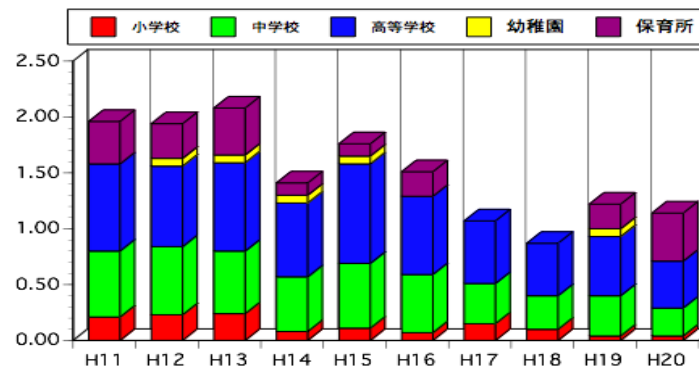
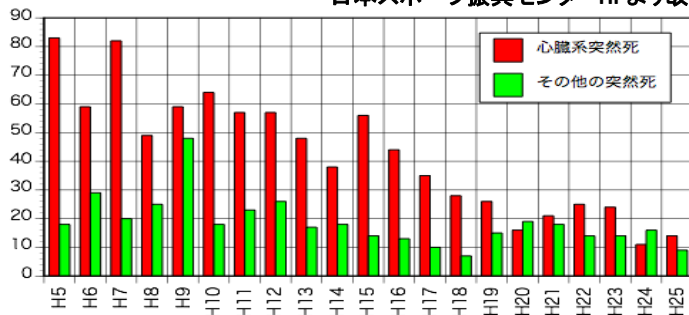
栄養状態、脊柱・胸郭の疾病・異常の有無並びに四肢の状態、視力、聴力、眼の疾病・異常の有無、耳鼻咽喉頭疾患・皮膚疾患の有無、歯・口腔の疾病・異常の有無、結核の有無、心臓の疾病・異常の有無、尿、その他の疾病・異常の有無および結核に関する検診

得られたエビデンス：身長と体重より成長曲線基礎データ、寄生虫卵の減少、う歯の減少等

課題：各疾病や異常が「心臓の疾病・異常」のように纏められており、不整脈や心筋症、後天性心疾患など各疾病の年齢別有病率や発症、将来の生活習慣病対策としての情報を得ることができない。

現代的健康課題であるアレルギー疾患も、アトピー性皮膚炎と気管支ぜん息のみ罹患児童生徒数を把握できるが、食物アレルギーやアナフィラキシーの児童生徒数は把握できず、科学的エビデンスとしての利用が困難

例：学校心臓検診 年度別学校管理下突然死数
日本スポーツ振興センターHPより改変



10万人対・年度別学校種別突然死数（保育所を除き学校管理下突然死数）

学校における突然死予防必携、独立行政法人日本スポーツ振興センター、平成23年より引用

問題点：

- ①学校管理下突然死数は、日本スポーツ振興センターの統計で把握されており、学校種別では高校＞中学校＞小学校で多いことが分かっており、生前に指摘されていた心疾患では術後先天性心疾患、心筋症、不整脈が3大疾患である事が分かっている。
- ②しかしながら学校心臓検診では、個人毎の疾患名まで学校では把握されるが、学校保健統計では包含されるため、個々の疾病の有病率が不明で、対策も国や自治体単位では把握できない
- ③学校管理下突然死は減少してきているが、疾病の母集団や有病率が不明なため科学的エビデンスとならない

総務省国民生活・社会統計ワーキングにおける議論(平成29年8月4日、25日)

＜公的統計の整備に関する基本的な計画(第Ⅰ期基本計画)に盛り込まれていた項目＞
「学校保健統計において、心の健康、アレルギー疾患、生活習慣病等に関する項目の追加とともに、健康診断票をそのまま統計作成に利用できる方策を講じることを含め、調査方法や調査票の改善について検討する」をテーマに議論がなされている

(総務省・統計委員会) 基本計画部会における次期基本計画に係る審議の整理メモ 国民生活・社会統計ワーキンググループ会合(第5回) 資料1-1より一部改変

文部科学省の現状認識: 取り組み状況

- (1) 「心の健康」、「アレルギー疾患」、「生活習慣病」の項目は現在も実施されておらず、診断票様式を統一しないという方針についても変更されていないため、状況の変化は生じていない
- (2) 本調査結果は学校保健行政の施策立案検討の基礎資料として活用されている
- (3) 平成16年度の「新しい時代に対応した統計調査の推進に関する検討会」で結論を得たもので標本設計の限界について文部科学省は認識していない

文部科学省の次期基本計画における取り扱い及び基本的な考え方案

＜基本的な考え方＞学校保健統計調査について、報告者の負担抑制や統計利用者のニーズに配慮しつつ、調査方法及び標本設計の改善や、統計作成の対象とする調査項目や基礎データの収集・保管を含めた調査計画の抜本的な見直しを検討するため、教育・医学関係者の有識者や養護教諭等から構成される研究会を立ち上げ、可能な限り早期に結論を得る

上記の経緯を踏まえて

- ① 学校医等、学校保健に関与する医療関係者を研究会メンバーに加えていただきたい
- ② 発達障害等早期対応のため、就学時健診を学校保健統計に加えていただきたい
- ③ 学校保健統計が科学的エビデンスを持ち、その有用性とフィードバックが得られるように学校保健統計について見直しが必要である